

令和7年度

日本水産学会九州支部総会・大会・例会プログラム

日 時：令和7年12月6日（土）・7日（日）

場 所：長崎大学 水産学部，文教スカイホール

12月6日（土）

- 14：30 総 会 【第1会場】
15：00 大 会 一般研究発表（口頭発表）【第1会場・第2会場】
18：30 会員交歓会 【鶏焼食堂テトラ 長崎大学店】

12月7日（日）

- 9：00 大 会 高校生による研究発表（ポスター発表） 【第3会場】
10：30 例 会 「九州から食の未来を考える」 【文教スカイホール】
12：40 大 会 表彰式（一般研究発表，高校生による研究発表）【文教スカイホール】

12月6日(土)

一般研究発表 第1会場

- 15：15 **1-01** 光合成遺伝子 (*psbA*) の発現量を指標とした有害赤潮藻 *Chattonella* の増殖能力評価手法の検討
○澁田隆之助・井上翔馬・高井優生・大嶋雄治・島崎洋平（九大院農）
- 15：30 **1-02** *Edwardsiella piscicida* 由来病原因子 *EvpP* によるメダカ腎臓細胞の細胞死誘導の阻害
○住吉 竹千代（宮崎大院農工）・河野 智哉・引間 順一（宮崎大農）
- 15：45 **1-03** メダカ細胞における $\text{TNF}\alpha$ 誘導性細胞死に関する解析
○中岡 侑莉乃・石原 怜於（宮崎大院農）・河野 智哉（宮崎大農）・原 雄一郎（北里大）・森脇 健太（広島大院医）・引間 順一（宮崎大農）
- 16：00 **1-04** 回流水槽実験によるアサリ足糸付着強度の定量
○中地 桃花（長大院総生）・Gregory N. Nishihara（長大海セ）・高島 望・竹内 清治（長大院総生）

- | | | |
|-------|------|--|
| 16：15 | 1-05 | 二枚貝の貧酸素継続暴露ストレスを評価する新規手法の開発
○鈴木伸太郎（佐賀大院農）・川名拓里・藤武史行・
神崎博幸（佐賀県有明水産振興セ）・折田亮（佐賀大農） |
| 16：30 | 休憩 | |
| 16：45 | 1-06 | 養殖ニホンウナギの放流効果を向上させる飼育方法の検討
○小谷 知也・乾 晴貴・田中 靖奈（鹿大水）・篠原 有作・茶木 翠怜（鹿大農水）
・安樂 和彦（鹿大水） |
| 17：00 | 1-07 | 洋上風力発電と漁業の共存に向けた回遊性魚類の空間利用特性の解析
○折橋涼絵・平井俊哉（長大水）・刀祢和樹（道さけます内水試）
・濱田翔太（長大院水環）・大脇拓洋・上浦綾大・富田将吾（長大院生産）
・工藤謙輔（戸田建設）・佐々木幾星・河邊玲（長大海セ） |
| 17：15 | 1-08 | 九州北部海域におけるヒラマサの水平移動の季節変化
○大脇拓洋・上浦綾大（長大院生産）・刀祢和樹（道総研さけます内水試）・
李政勲（韓国水産科学院）・小山喬・阪倉良孝（長大院生産）・河邊玲（長大海セ） |
| 17：30 | 1-09 | 大村湾中央部における水柱と底質生態系間の共役
○田仲菜都子（長大院総生）・石川裕平・七里瑞希・青島隆（長大水）・西原直希・
近藤能子・鈴木利一・広瀬美由紀・和田実（長大院総生） |
| 17：45 | 1-10 | 台湾北部から放流したブリ（ <i>Seriola quinqueradiata</i> ）の水平鉛直移動
○富田将吾・大脇拓洋・上浦綾大・松本有生（長大院生産）・濱田翔太（長大院水環）・
佐々木幾星（長大海セ）・Wei-Chuan CHIANG・Hsin-Ming Yeh（台湾水試）・
河邊玲（長大海セ） |

- | | | |
|-------|------|---|
| 15:00 | 2-01 | 刺身のテクスチャー解析およびテクスチャーによる魚種分類の試み
山本 大嗣・新堀 秀太（鹿大水）・篠原 夏帆（鹿大院農水研）・ [○] 加藤 早苗（鹿大水） |
| 15:15 | 2-02 | 宮崎産メヒカリの栄養成分の季節的変動
[○] 堀江 峻平・内田 勝久・田岡 洋介・田中 竜介（宮崎大農） |

- 15 : 30 **2-03** 脂質酸化由来アルデヒドとアミノ酸の反応による生体アミン類の生成
○土塔 涼華・田中 竜介（宮崎大農）
- 15 : 45 **2-04** Designing of biodegradable curcumin-loaded active agar-based composite film packaging from *Gelidium elegans* seaweed for shelf-life extension of fish fillet
○Nor Alia Che Nozid¹, Asami Yoshida¹, Youshi Huang¹, Takuya Hirose¹, Katsuya Hirasaka²
¹ Institute of Integrated Science and Technology, Nagasaki University
² Organization for Marine Science and Technology, Nagasaki University
- 16 : 00 **2-05** マリンコラーゲンの筋芽細胞培養用基質としての利用可能性
○村上 遥希（長大院生産）・吉田 朝美・大内田 安里紗（長大水）・山崎 隆明・山崎 のどか（東洋製罐 GHD）・長富 潔（長大水）
- 16 : 15 **2-06** トラフグ筋芽細胞の分離・培養及び分化に関する研究
○浦富 翔伍（長大院生産）・吉田 朝美・佐藤 望結（長大水）・山崎 隆明・山崎 のどか（東洋製罐 GHD）・長富 潔（長大水）
- 16 : 30 **休憩**
- 16 : 45 **2-07** 魚類骨格筋の肥大を誘導する新規機能性飼料素材の検討
○平野魁大・巖 智煥・二神裕子・塩崎一弘（鹿大・水・食品生命）・河辺ももこ・道原成和・千葉殖幹（クラシエ・漢方研）
- 17 : 00 **2-08** Neu1 タンパク質による GABA 神経系を介した魚類の社会行動調節機構
○江籠遥香・辻すもも・二神裕子・志水亮太・小松正治・塩崎一弘（鹿大・水・食品生命）
- 17 : 15 **2-09** マサバにおける生殖関連遺伝子のエピジェネティック制御
Mariel Galotta・荻野由起子・Tapas Chakraborty・○太田耕平（九大院農）
- 17 : 30 **2-10** 内分泌操作を施したブリのトランスクリプトーム解析
○須藤勇海・小山 喬（長大院生産）・水野直樹・菊池 潔（東大水実）
- 17 : 45 **2-11** 頭足類酸素運搬タンパク質ヘモシアニンの分子進化がもたらした分子会合体構造および生理機能への影響
○加藤 早苗・迫田 一輝・村野 朗也（鹿大水）・榊原 里奈（鹿大院農水研）

12月7日(日)

高校生による研究発表 第3会場 午前9:00～10:00

- P-01** 自作バイオマスコンクリートによるケイソウ類の発生促進について
○川本蒼衣・○岡本奈々・○倉橋奈那・○姜主用・○富永勘介・○島峯広幹（長崎西高等学校）
- P-02** タンパク質バンドの出方からノリを知ろう！
○山下 結花・○水田唯愛・○山口玲奈・○浦川さや・○奥村怜・○草野有里（長崎北陽台高等学校）
- P-03** マイクロプラスチックが与える生物への影響
○江頭 栄花・○寺田 愛祐花（長崎北陽台高等学校）
- P-04** マイクロプラスチックの現状 ○木村凜子・○村田彩歌・○矢野心結・○岸本真侑・○道岡柚子・
○森田月咲・○川口悠里（長崎北陽台高等学校）
- P-05** 音響カメラを用いた魚種判別 ○小野 紗恵子（長崎北陽台高等学校）
- P-06** 干潟に住むベントスの分布様式
○坂口悠花・○小村充基・○内橋愛・○上田康太（長崎北陽台高等学校）
- P-07** 人工味覚細胞を用いた食味評価 ○山口心美・○古賀心花・○山口真由（長崎北陽台高等学校）
- P-08** はたらく細胞～魚と細菌の戦い～
○麻生夏帆・○伊藤葉月・○越智よつは・○松野彩愛・○土橋ななみ（長崎北陽台高等学校）
- P-09** 船の旋回航路に関する探究
○中村壮介・○伊藤杏俐・○角谷優育・○月尾航平・○溝口旺一郎（長崎北陽台高等学校）
- P-10** 大村湾に住むフグ ○前田歩侑・○山田彩乃・○山梨日那子・○江添りお（長崎北陽台高等学校）
- P-11** ひずみゲージを用いた測定について ○松下斗環・○梶壮太郎・○鈴木晴（長崎北陽台高等学校）
- P-12** 平戸若宮浦におけるカブトガニの生態 ○金田 大雅・○白尾 陽菜（佐世保北高等学校）
- P-13** アマクサアメフラシへのワカメ給餌実験
○蕪尻真輝歩・射場一豪・生田わかば・野口智宏・小林優介（長崎県立長崎鶴洋高等学校）

一般研究発表要領

1. 受付について

長崎大学水産学部正面玄関に受付を設けますので、必ず発表者本人が受付を行ってください。

2. 発表資料の PC へのコピーについて

発表資料を入れた USB メモリーをご持参ください。PC へのコピー並びに動作確認は、**発表当日の 13:00~14:30** の時間内に行ってください。会場で準備する PC の OS 並びにソフトウェアの仕様は以下の通りです。

OS: Windows 10

ソフトウェア: Microsoft 365 Power Point

※ 他のプレゼンテーションソフトや動画、OHP は使用できません。

※ PC に入れさせていただいたファイルは、発表終了後に速やかに破棄します。

※ Macintosh の使用をご希望の方は、事前にご相談ください。

3. 発表について

スライドは大型モニターに投影します。発表時のスライドの進行は各自において PC を操作してください。指示棒やマウス等はこちらで準備いたします。**発表時間は 15 分（発表 12 分 + 討論 3 分）**です。

高校生による研究発表要領

1. 受付について

長崎大学水産学部正面玄関に受付を設けますので、必ず引率者が受付を行ってください。

2. 発表ポスターの掲示について

ポスターの掲示は、**発表当日の午前 8:30~9:00** の時間内に行ってください。

3. 発表について

発表者は、発表時間中ポスターの前に立ち、聴衆に説明を行うと共に質疑応答を行ってください。

令和7年度 日本水産学会九州支部例会(シンポジウム)
ながさき BLUE エコノミー 令和7年度市民公開講座 プログラム

「九州から食の未来を考える」

日時: 令和7年12月7日(日) 10:30~12:40

場所: 長崎大学 文教スカイホール

- 10:30-10:35 開会挨拶 征矢野 清 (ながさき BLUE エコノミー プロジェクトリーダー)
- 10:35-10:40 趣旨説明 吉田 朝美 (長崎大学水産学部・日本水産学会九州支部庶務幹事)
- I. 大学発ベンチャーが変える新たな養殖業の未来 座長: 征矢野 清 (ながさき BLUE エコノミー)
- 10:40-10:55 超高速の品種改良で日本の水産業に貢献する 荻野 哲也 (リージョナルフィッシュ株式会社)
- 10:55-11:10 温暖海域における持続可能なサケマス養殖: 高温耐性種苗の作出によるサクラマス生産
内田 勝久 (宮崎大学農学部・株式会社 Smolt 技術顧問)
- 11:10-11:20 ながさき BLUE エコノミーと魚食推進による地域活性化の取り組みについて
松本 誠司 (ながさき BLUE エコノミー 副プロジェクトリーダー)
- 11:20-11:30 休憩
- II. 食料危機解決の鍵となる次世代食品 座長: 吉田 朝美 (長崎大学水産学部)
- 11:30-11:40 細胞農業: 未来の食を支える科学の可能性 洪 貴美子 (The Good Food Institute Japan)
- 11:40-11:50 畜肉や魚類の細胞を培養してつくる「細胞性食品」の研究開発動向
洲鎌 なつ (日本細胞農業協会)
- 11:50-12:05 次世代の水産食品を考えよう 上野 幹憲 (長崎大学水産学部)
- 12:05-12:20 ニワトリ胃(砂肝)の培養肉化でフードロスを減らそう
中村 真子 (九州大学大学院農学研究院)
- 12:20-12:35 総合討論 座長: 吉田 朝美 (長崎大学水産学部)
- 12:35-12:40 閉会挨拶 長富 潔 (日本水産学会九州支部 支部長)

企画の趣旨:

近年、世界的な気候変動や環境問題などのグローバルリスクの影響によりタンパク質生産を担う養殖業や畜産業による食料生産が伸び悩んでいる一方で、人口爆発や新興国の経済成長などにより魚や肉などのタンパク質を多く含む食品の需要が高まっています。そのため、近い将来、タンパク質の需要が供給を上回る「タンパク質危機(global protein crisis)」が起こると世界的に懸念されています。食料危機の一つであるこの世界的な課題の解決には、養殖の効率化や気候変動に対応した新たな養殖技術の開発や、新たなタンパク質生産方法の開発が必要不可欠です。本シンポジウムでは、これらの技術開発の研究や大学発ベンチャーの取り組みに加えて、魚食推進による地域活性化の取り組みも紹介します。九州の研究者や企業、更には市民の皆様と共に食の未来を考える機会となれば幸いです。

共催: 日本水産学会九州支部, ながさき BLUE エコノミー, 長崎大学